学校番号	3010

令和8年度　　工業　　科

教科	工業	科目	課題研究	単位数	3 単位	年次	3 年次
使用教科書	自主編成教材						
副教材等	なし						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

課題研究では、インテリアデザイン科で２年間学び身に付けた知識や技術を生かし、デザインに関する様々な事柄を生徒が自ら問題意識を持って取り組む授業です。外部の学校や団体と交流を持ち、ニーズにあった製品の制作や、空間の考察等を班別実習で学び、実際の製品提案や空間を作品制作やプレゼンテーションを通して学習します。

2　学習の到達目標

【知識及び技能】

今まで学んだ知識や技術などを基にPBLに取り組み専門的な知識と技術などの深化・総合化を図り、工業やデザインに関する課題の解決を行う。

【思考力、判断力、表現力等】

依頼者とコミュニケーションを図りながら自身の思考力・判断力・表現力を活かすプロセスを理解する。

【学びに向かう力、人間性等】

工業やデザインに関する課題の解決に主体的に取り組み実践する姿勢を養う。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a：知識・技術	b：思考・判断・表現	c：主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	工業のインテリア分野について体系的・系統的に理解する。工業のインテリア分野について体系的・系統的に相互に関連付けられた技術を身に付ける。	工業のインテリアに関する課題を発見し、工業に携わる者として独創的に解決策を探究し、科学的な根拠に基づき創造的に解決する力を養う。	課題を解決する力の向上をめざして自ら学び、工業の発展や社会貢献に主体的かつ協働的に取り組む態度を養う。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元（題材）の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
1	研究計画	課題を解決する力の向上をめざして自ら学び、工業の発展や社会貢献に主体的かつ協働的に取り組む態度を養う。	a:工業製品や、教具、空間デザインなどの調査をする。工業製品や、教具、空間デザインなどの理解を深める。 b：デザインワークを通しコンセプトに合わせた構想を練り、創意工夫する。 c:：グループワークを中心に問題解決に向けて協働的に取り組む。	学習状況の観察 実習ノートの記述 作品レポート 発表 自己評価 相互評価等	学習状況の観察 実習ノートの記述 作品レポート 発表 自己評価 相互評価等	学習状況の観察 実習ノートの記述 作品レポート 発表 自己評価 相互評価等
2	研究制作	・作品制作 ・切削加工 ・研磨加工 ・組立加工 ・仕上げ加工 ・考察 ・プレゼンテーションボード作成	a：必要な加工技術を適切に使用して制作している。制作過程を理解し、工程計画を立てている。 に取り組む。 b：作品制作において独創的に解決策を探究し創造的に思考、判断、表現している。 C:グループワークを中心に問題解決に向けて協働的に取り組む。	学習状況の観察 実習ノートの記述 作品レポート 発表 自己評価 相互評価等	学習状況の観察 実習ノートの記述 作品レポート 発表 自己評価 相互評価等	学習状況の観察 実習ノートの記述 作品レポート 発表 自己評価 相互評価等
3	研究発表	・作品制作 ・交流授業 ・展示空間の考察 ・ディスプレイ計画 ・プレゼンテーション ・振り返り	a：必要な加工技術を適切に使用し制作している。制作過程を理解し、工程計画を立てている。 b：展示空間の考察や、プレゼンテーション等伝える為の方法について創意工夫している。 C:グループワークを中心に問題解決に向けて協働的に取り組む。	学習状況の観察 実習ノートの記述 作品レポート 発表 自己評価 相互評価等	学習状況の観察 実習ノートの記述 作品レポート 発表 自己評価 相互評価等	学習状況の観察 実習ノートの記述 作品レポート 発表 自己評価 相互評価等

※　表中の観点について　a:知識・技術　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度